令和４年度　笹塚小学校　研究構想図

学校教育目標

互いの違いを認め　高め合う子
主体的に学び　創造する子
心身をきたえ　たくましい子

重点目標

変化の激しい時代をたくましく生き抜くために、主体的に学び、他者と協働して新しい価値観を創造し、自分の個性を伸ばすことのできる子供の育成を目指す。

教師の実態

問題解決的な学習を発展的に繰り返し、探究する活動を展開・構築していく。

目指す教師像

相互参観を活性化し、常に授業改善を図る教師
地域社会に関わり、多様な視点で学ぼうとする教師

目指す児童像

課題に対して主体的に取り組む子

地域や社会に関わろうとする子

研究主題

「笹塚版探究学習の確立」
～「課題の設定」と「情報の整理分析」プロセスの充実～

研究の仮説

① 児童の実態や地域の特性を生かした単元計画を組み、児童が自己決定する場面を仕掛けることで、意欲をもって課題や仮説を設定できるだろう。
教師が「何ができるようになるのか」を明確にもって指導することで、児童が目的意識のある課題設定をすることができるだろう。

② 児童に多様な視点をもたせることによって、課題に沿った形で情報の整理分析ができるようになるだろう。

「笹塚版探究学習の確立」

「課題の設定」と「情報の整理分析」プロセスを充実させるための手立て

① 児童の実態や地域の特性を生かした課題や仮説の設定

② 「７つの視点」からの情報分析
Form（特徴・構造）　Function（機能・役割）　Change（変化・変容）
Causation（原因・理由）　Connection（関連・影響）
Perspective（視点・視野）　Responsibility（主体・責任）